

会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度 長岡市生涯学習推進会議
2 開催日時	平成29年12月21日（木）午前10時～正午
3 開催場所	中央公民館 大ホール
4 出席者名	<p>【生涯学習推進会議委員】 加藤委員、河田委員、安藤委員、片沼委員、八久保委員、阿部委員、菊地委員、北郷委員、中林委員、宇佐美委員、笠井委員、金子委員、竹樋委員、高田委員</p> <p>【関係課職員】 水島生涯学習文化課長（兼中央公民館長）、齋藤まちなかキャンパス長岡室長、神保子ども家庭課課長補佐、栗林男女共同参画推進室長、</p> <p>【生涯学習文化課職員】 小林課長補佐、杉本主任、金塚主事</p>
5 欠席者名	小林委員、小田委員、倉品委員、佐竹委員、渡辺委員、穂刈委員
6 議題	(1) 正副議長の選出について (2) 第四次長岡市生涯学習推進計画 取組状況について
7 審議結果の概要	(1) 互選により、議長に加藤委員、副議長に河田委員が選出された。 (2) 資料をもとに説明し、意見をいただいた。
8 審議の内容	
加藤議長 中央公民館長	<p>取組状況の No. 4 について、説明をお願いします。</p> <p>生涯学習推進大学についてである。生涯学習推進大学は、コミュニティセンター等で生涯学習分野の企画・運営にかかわるリーダーを養成するため、2年間を一つのクールとし、合計 30 回の講座を継続的に開講している事業である。フォローアップ研修会については、大学の修了生の情報交換、学びの継続等のニーズに応えたもので、平成 29 年度は「福祉」「学校と地域の連携」の内容について、実習と座学を行った。一定の評価はいただいているので、平成 30 年度以降も継続していきたい。来年度第 8 期の受講者の募集については、コミセンからの推薦枠、市政だ</p>

	<p>より等の広報による公募枠があり、パンフレットの設置等によりPRする予定である。コミセンへのヒアリング及び社会教育委員への意見徴集については、地域課題への理解が深く、課題解決に取り組む人材及び目的を持った事業を行う人材の養成に期待しているとの意見をいただいた。生涯学習推進員の活動状況については、事業の企画・運営等に携わり、地域の部会のメンバー、コミセンの主事、センター長等幅広く活躍している。</p>
<p>北郷委員 中央公民館長</p>	<p>地域からの推薦枠があるとのことだが、人数の制限はあるか。 全体の人数の限りはあるが、特に推薦人数の制限は無いので、多くの方を推薦していただきたい。</p>
<p>片沼委員 中央公民館長</p>	<p>各地区における推進大学の修了生の人数はどれくらいか。 手元に資料が無いため詳細には回答できないが、修了生は全体で300人余りである。推薦人数は各地区の考えによるため、修了生の人数にはばらつきがある。</p>
<p>加藤議長 まちなかキャンパス室長</p>	<p>取組状況のNo.7について、説明をお願いします。 資料に掲載した取組は、まちなかキャンパス長岡の分校及び出張講座についてである。分校については、希望が丘分校及び栃尾分校があり、地域のニーズに合わせた講座を分校内で企画・運営をしている。出張講座については、支所地域への周知・PRのため、地域のニーズに合わせて、支所地域と協働で本校が実施しているものである。今年11月26日に小国地域で行ったため、全支所地域で実施したこととなり、2巡目の開催を検討しているところである。小国地域でのアンケートでは、まちなかキャンパス長岡は3割程度しか認知されていないため、チラシの配布等の広報に努め、出張講座の口コミ等を通じて認知度の改善を図っていきたい。</p>
<p>加藤議長 事務局</p>	<p>取組状況のNo.11について、説明をお願いします。 まちゼミはお店のファンを作ることで新たな顧客を獲得する手法である。参加店や講座数は、売上などの成果がすぐに現れないため、各店の経営者の考え方に左右される。 主催者によると、思ったほどの顧客獲得につながらず参加を取りやめる店舗や、仕事の都合上参加できなかった等、理由はさまざまのことである。</p>
<p>加藤議長 事務局</p>	<p>取組状況のNo.12について、説明をお願いします。 ながおか・若者・しごと機構は、3大学1高専15専門学校や金融機関、商工会議所など市内29機関が参画し、若者の活動支援や居場所づくり、学ぶ・働く魅力づくりなどの地方創生施策を推進している。 学生の交流に関しては、学生同士だけでなく、市民や地域、社会人などとの交流を促す取り組みを実施している。特にながおか若者会議は立場の異なる若者が集まり、アイデアの提案や議論を交わす場として開催</p>

河田副議長	<p>しており、過去に学生分科会メンバーからも参加していただいた。機構を運営する中で、学生から混乱の声は聞こえていない。よって問題は生じていないと考えている。今後学生交流イベントが開催される際は、まちなかキャンパス長岡と情報共有しながら、広報・周知等の協力をしていきたいと考えている。</p>
まちなかキャンパス室長	<p>ながおか・若者・しごと機構は地域社会ともつながりがあり、専門学校も参画しているなど、まちキャンの学生分科会と比べて組織がとても大きい。しかし、学生同士という類似組織のため、重複感及び負担感があり、学生は困っていないか。まちキャン内の感想を聞きたい。</p>
加藤議長 子ども家庭課課長補佐	<p>まちキャンの学生分科会については、学生の目線での交流を目指しており、様々な立場及び幅広い年齢の方が集まる若者・しごと機構との違いはある。しかし、言われるとおり、人集め等学生の負担があるのは事実なので、一緒に出来るところはまとめながら、学生の負担は軽くしていきたい。</p>
加藤議長 子ども家庭課課長補佐	<p>取組状況の No.14 について、説明をお願いします。 御質問のあった「ままなび」は、平成 29 年度から新たな取り組みとして、育児・子育てに悩みや不安を抱える母親が現場保育士から学ぶという事業であり、今年度始まったばかりのため、第 4 次計画には記載されていないものである。実績については、4 月から 11 月末現在で、129 回開催し、358 人の母親が利用している。次年度以降は、実績や成果の検証をしながら、掲載を検討していきたい。</p>
加藤議長 男女平等参画推進室長	<p>取組状況の No.15 について、説明をお願いします。 当室では男女共同参画推進のため、様々な講座・セミナーを開催している。講座のテーマにより、対象を年代別、性別、子育て世代、介護家庭等毎年変更して、また、目的に合わせて大学、コミセン、福祉センター等へ出向いて実施している。再就職準備セミナー及び男性向けワーク・ライフ・バランスセミナーについては、子育て中の方が主な対象であり、子育ての駅や保育園にチラシを重点的に配布する等、事業の周知の面で連携を図っている。子ども家庭課との 2 課共同については、平成 25 年度に 1 度「おとうさんのための絵本読み聞かせ講座」をちびっこ広場で実施している。今後も、講座のテーマにより子育ての駅と共催する等、より効果的な事業実施に努める。</p>
加藤議長 事務局	<p>取組状況の No.23 について、説明をお願いします。 主に地域住民の多くが参加できるようなイベントの企画・運営活動である。例として、宮本地区では平成 29 年度町民大運動会が対象となっている。運動会を通じ各町内の親睦連帯を深め、毎年新しい競技種目や出し物を取りいれている。また、才津地区では深才地区親善野球大会が対象となっている。幅広い年代の住民参加により白熱した試合を行い、女性選手の活躍などもあり住民間の交流が図られたとのことである。</p>

<p>加藤議長 事務局</p> <p>加藤議長</p> <p>生涯学習文化課 長補佐</p>	<p>コミュニティスポーツ活動への金銭面の補助はあるか。</p> <p>コミュニティスポーツ活動の補助については、活動計画を提出し、活動の実績報告をすれば、一律5万円程度の補助金が交付されると聞いている。</p> <p>以上で議題を終了とし、進行を事務局にお願いしたい。</p> <p>以上をもって平成29年度長岡市生涯学習推進会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">閉会時間 正午</p>
<p>上記会議録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">長岡市生涯学習推進会議 議長</p>	
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>